じゅんぷう広報誌（季刊）
えがお
第33号
平成28年6月1日発行
発行元（介護老人保健施設）堀川健康会
じゅんぷう広報委員会
平成二十年三月一日創刊

ご挨拶～理事長より～

木々の緑も、いつの間にか濃くなりました。時折暑い日もありますが南風のここち良い季節となりました。

四月十四日、熊本地方を中心に大地震が発生し、多数の方が死亡したり、大怪我をするなどの犠牲者が出ました。発生後も大分県へと震源が拡大し、又記録上、初めてといっていい程の余震（発生後二週間で壱千回余）が続いております。いまだに多数の方が避難所生活を余儀なくされており、インフラの復興は勿論ですが、同時に慢性疾患管理、特に心のケア等の対応が大きな課題となっております。

当施設は平成二十年に地域の方や消防隊と災害時の協力協定を結んでおり、災害時の協力・支援には労苦をいとわないつもりです。

これからも老人保健施設としての質の向上に取り組むことのみならず、地域の安全の為に全力を尽くす所存です。

これからもよろしくお願い致します。

理事長　近藤　泰正

相談室よりこんにちは

平成二十八年三月十七日（木）午後一時三十分～午後三時、地域交流会を開催しました。

「認知症の方の想いを考えてみましょう」をテーマとし、認知症の方が日頃どのような想いで生活をされているのか、また認知症からくる様々な症状に対してどのような対応を心がければよいのか等、具体例を挙げながらお話しをさせていただきました。

参加者は少人数でしたが大変ありがとうございました。

引き続き今年度も地域交流会の開催を予定しておりますので、「聞きたい、知りたいテーマ」がございましたら、お気軽に受け付けへお声かけ下さい。今後テーマの参考にさせて頂きます。

お待ちしております。

（下段に続きます）

厨房コラム

毎月の季節や祭事に合わせた行事食の献立や、「今までに食べたい」と思うものは何ですか？」のアンケートで回答の多かった料理などを提供する企画をはじめました。

四月はリクエストの多かった「好きなもの、召し上がりたいものを提供しました。

五月は中華料理を予定しています。食事時間ができるだけ楽しいひとときとなるお手伝いができますよう今後も腕を振るって参ります。

通常の握り寿司

やわらか握り寿司

施設の取り組み紹介

今回は通所リハビリテーション（デイケア）での取り組みの一つである「生活リハビリ」についてご紹介致します。

一時的なお怪我等により、「今まで通りの生活に不自由が生じた。」「こういつもの生活の中で身体を動かすことが必要であるものの、ご自宅でのリハビリが不安だ。」「これからの生活に不自由な理由でリハビリが必要である。」という方も少なくないといえるでしょう。そこで「生活リハビリ」を提案し、例えば洗濯物干し、エプロンの着脱、ラジオ体操、レクリエーション、ボール運動、コップ洗い、精米、簡単な調理、盛り付け等の生活に必要な動きを想定し、自宅での生活に近い環境にて行います。ご利用者様のご自宅での生活リハビリ」を提供を行っています。

また、担当リハビリ職員がご自宅に伺い、生活におおいて困難が予想される動きの評価を行ないます。その評価を元にデイケアご利用中に、必要に応じて段差昇降や歩行練習をし杖や歩行器といった福祉用具の使用練習等も実施しています。

今後もご利用者様のご自宅での生活リハビリ」についてご紹介致します。

職員紹介

今年度より新社会人として入職し、各フロアへ配属されました三名を紹介致します。

宇野佳成美（うの　かなみ）

「四階フロアに配属となりました。皆様と楽しい一日を一緒に過ごしたいと考え、毎日笑顔で元気よく！をモットーに頑張っています。岩盤浴がすきで、つい最近では大阪のスパワールドに行きました。たくさん汗を流して、心身ともに引き締めています。」

浅野真優（あさの　まゆ）

「二階デイケアに配属となりました。趣味は絵を描く事と、かわいいTシャツを集めることです。ご利用者様にTシャツを褒めて頂くことが嬉しくて集め始めました。元気に精一杯頑張ります。」

西口真由子（にしぐち　まゆこ）

「三階フロアに配属となりました。町中が忍者の服装をした人で賑わっている三重県伊賀市の出身です。好きな歌手はミスターチルドレンで、ライブコンサートにもよく行きます。ご利用者様と笑い合えるよう、笑顔を忘れずに頑張ります。」

写真左より
西口、浅野、宇野です。
社会人初日となった新人宿泊研修(滋賀県)での1枚です。

じゅんぷうホームページ
http://www.junepooh.com/